

日相建設株式会社



<目標達成に向けた取組の現状及び達成見込み>

環境に関する取組として、CO2削減のため、アイドリングストップや環境に配慮した機材の確保等に積極的に努めています。また社用車のハイブリッド車への交換を順次進めています。障害者雇用は一進一退を続けていますが、今後も引き続き積極的な採用に努めます。

<その他SDGsの推進に資する取組の実施状況>

高齢化と少子化の世相を鑑み、仕事と介護の両立に役立てようとながわサポートケアの認証を取得しました。定期的に従業員の意向調査や研修を開くなど働きやすい職場づくりに努めています。

<KPI及びその達成状況>

No.	指標 (KPI)	当初値	1年目 (2023年)	2年目 (2024年)	3年目 (2025年)	2030年の目標値
1	障害者の雇用促進	1	0			3
2	災害時対応資器材の確保	60%	65%			100%
3	EV及びハイブリッド車の導入	2	3			4

株式会社アコック



< 目標達成に向けた取組の現状及び達成見込み >

地元の輪を大切に、地域全体で継続的に仕事ができる関係づくりを実施します。地元受注物件については、出来るだけ多くの仕事を地元企業と共有できるように手配します。2023年も地元企業への発注を実施できました。育児休業・介護休暇については社内周知をおこない、日頃から休暇の取りやすい環境づくりを進めています。

< その他SDGsの推進に資する取組の実施状況 >

地域コミュニティの発展を目指し、近隣小学校の総合学習「HEROのかけら！ゴミではなく資源に！」プラスチック再資源化活動に参加しました。本社事務所、工事現場作業所内で集めたキャップと空ボトルを届けました。

< KPI及びその達成状況 >

No.	指標 (KPI)	当初値	1年目 (2023年)	2年目 (2024年)	3年目 (2025年)	2030年 の目標値
1	市内発注率 (資機材・施工共)	50%	53%			80%
2	育児休業・介護休暇取得者数	2人	2人			4人
3	社用車のHEV・EV化	18%	20%			50%

日本板硝子株式会社

相模原事業所



< 目標達成に向けた取組の現状及び達成見込み >

既存商品の性能を向上させて新用途向け製品を順調に開発している。2023年度は自動光学検査用レンズアレーSLA-5EGを開発し発表した。

CO2排出量削減については2018年を基準とし2030年までに30%削減を目指している。2023年は電力量の削減を順調に実施した。

環境マネジメントシステムを運用して製品の開発や改良、省エネ、廃棄物量削減に取り組んでいる。

< その他SDGsの推進に資する取組の実施状況 >

2023年度からはSDGs目標3に該当する健康経営にも本格的に取り組み始めている。健康診断やストレスチェックなどの結果を元に課題を明確にして改善する活動を事業所全体・ステークホルダーと共に進めようとしている。

< KPI及びその達成状況 >

No.	指標 (KPI)	当初値	1年目 (2023年)	2年目 (2024年)	3年目 (2025年)	2030年 の目標値
1	新しい光学部品の開発	0製品	1(5EG)			5製品
2	高性能ガラスや光学部品の性能向上	100%	解像度 115%			150%
3	CO2排出量の削減 (2028年対比)	90%	73%			70%

富士ホールディングス株式会社



< 目標達成に向けた取組の現状及び達成見込み >

白河事業所において、自家消費型太陽光発電をスタート。平均日照量より算出された年間の発電量は約 684,634kWh となり、白河事業所で使用する電力の約 18% を自然エネルギーへ切り替える想定です。また相模原/白河事業所の建屋で使用している蛍光灯の大多数を LED に切り替えました。

2024年1月には従来の紙カタログの一部廃止を実施し、A4サイズの印刷用紙約263万枚、約79t-CO₂の削減を見込んでいます。

今後は、製造設備のエネルギー源をガスから電気設備への切り替えと、弊社が製造する製品に搭載するモーターをCO₂発生量がより少ないモーターへの切り替えを進めることでCO₂削減を目指します。

< その他SDGsの推進に資する取組の実施状況 >

弊社から排出される食品ロス削減と相模原におけるパートナーシップの促進のため、日本フードエコロジーセンター様のエコフィード事業に参画しています。

また「質の高い教育をみんなに」につながる取り組みとして、有志社員による無料学習支援ふちのべ学習教室でのボランティア参加をスタート。その他に相模原みのり塾では「創造学習」の時間にオリンピック社員による出前授業を行いました。

< KPI及びその達成状況 >

No.	指標 (KPI)	当初値	1年目 (2023年)	2年目 (2024年)
1	環境負荷低減製品使用によるCO ₂ 削減量	非公表	非公表	非公表
2	事業活動で発生するCO ₂ 量 (2014年度比)	6,290t	5,681t	目標値 5,032 t
3	障がい者雇用	非公表	非公表	非公表

株式会社奥村組横浜支店



< 目標達成に向けた取組の現状及び達成見込み >

「採用者に占める女性割合」については19.3%を達成し、2024年度末の20%は達成を見込んでいる。「男性社員の育児休業取得」は通達、意識の向上により100%達成している。「CO2の排出抑制」は当初値より2.7%向上し、引き続き2024年の目標値28%削減の実現を目指して取り組む必要がある。2030年度の目標値は都度更新予定。

< その他SDGsの推進に資する取組の実施状況 >

役職員が健康でいきいきと活躍できる職場環境づくりを推進することが企業の持続的成長に繋がると考え、様々な取り組みを行っており、「健康経営優良法人2023」の認定を受けています。



< KPI及びその達成状況 >

No.	指標 (KPI)	当初値	1年目 (2023年)	2年目 (2024年)	3年目 (2025年)	2030年の目標値
1	採用者に占める女性の割合の向上	14.7%	19.3%			20%
2	男性社員の育児休業取得率の向上	7.2%	100%			10%
3	施工段階におけるCO2の排出抑制	24.0%	26.7%			28%